

秋田市の先人たち

産業振興と福祉に尽力

那波祐生

安永元（一七七二）年生

天保八（一八三七）年没

大町二丁目生まれ



主な事蹟

秋田藩の御用聞町人那波祐生は、上方から、酒造や絹織物などの新技術を導入し、国産物の開発、振興に尽力した。また、文政十二（一八二九）年、多額の私財を投じて日本で最初の民間による窮民の救済、育児を行う機関である「感恩講」を設立し、久保田の有力町人からの献金を資金として運営した。